

2016年度 報告書



青山学院大学保健管理センター

巻頭言

保健管理センター所長 五味 慎太郎
保健管理センター副所長 塩澤 友規

2017年は世相を表す漢字に「北」の字が選ばれ、清水寺の貫主が特大サイズの和紙に大筆で揮毫しました。日本漢字能力検定協会の公募に対し、全15万余りもの票が寄せられ、「北」には7千票以上が集まったそうです。選ばれた理由には、北朝鮮の軍事行動、九州北部豪雨、北海道産じゃがいもの不作、北海道日本ハムの大谷選手や清宮選手、競走馬キタサンブラックなどが注目されたことが挙げられていました。

この筆頭が上がった北朝鮮ですが、彼等の軍事行動は勿論心配なのですが、健康管理を職業とする私たちから見て気になるのは、その指導者の体格です。健康管理の専門家でない人たちから見ても明らかにオーバーウェイトであり、複数の生活習慣病をかかえていると想像する人は少なくないことと思います。

さて、本学でも教職員の体格や生活習慣病は問題視されています。特に、肥満に伴う生活習慣病の職員が多く、これに対し、当センター主催のセミナーの回数を徐々に増やす努力をしてきております。2016年度は、コレステロールの薬に関するセミナーや生活習慣病が気になる教職員を対象とした昼食セミナー等を実施しました。昼食セミナーでは、学生食堂と保健管理センターとのコラボレーションで実現した限定メニューをご提供し、いずれも好評を頂きました。

11月～12月には、いま話題のストレスチェックを実施しました。実施初年度ということもあり、残念ながら受検率は60%台と低迷しました。低迷の主因は教員受検率の伸び悩みですが、教員につきましては定期健診受診率でも同様の傾向がみられ、今後の課題です。一方、メンタル関連では、セルフケア研修を実施し好評をいただいております。今後も意欲的に取り組む方針です。

学生健診に於きましては、年間授業回数が増えた分健診実施日数が減り、受診率維持に苦慮しております。このような中、当センター主催で、生理痛、子宮頸がん、睡眠、インターネット依存、海外渡航時の健康管理等に関するセミナーを実施し、おかげさまでいずれも好評を得ました。

保健管理センター運営委員会では、喫煙所の場所が問題となっています。東京オリンピックに向けて、学内全面禁煙とすることが理想であることは言うまでもありませんが、本件は安全衛生委員会でも再三問題となり、議論に議論を重ねた結果現在の場所で妥協してきたという経緯があります。今後も全面禁煙に向けて議論を続けることが重要であることは言うまでもなく、当センターとしては、八大学保健担当者会議などでの意見交換内容を持ち帰り、全面禁煙に向けた努力を続けているところです。

保健管理センターの業務は地味ではありますが、時代とともに変遷しており、常に新たな情報を得たり、学習し続けることが求められています。これからもより良い健康管理を目指して参りますので、今後とも益々の御支援をいただければ幸いです。

目次

2016 年度業務報告

1. 年間業務内容.....	4
2. 学生定期健康診断.....	6
①学生定期健康診断受診状況（全キャンパス）.....	6
②学生定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）.....	7
③学生定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）.....	8
④学生の身体状況（肥満とやせ）.....	8
⑤学生集団健康教育.....	9
⑥感染症罹患報告者数.....	11
⑦学生の休学・退学者数.....	11
3. 教職員定期健康診断.....	12
①教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）.....	12
②教職員定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）.....	13
③教職員の身体状況（肥満とやせ）.....	13
④保健指導と集団健康教育.....	15
⑤教職員の休職・復職者数（対象：学院全体）.....	15
⑥長時間労働者への産業医による面接.....	16
⑦ストレスチェック受検率に関する報告（対象：学院全体）.....	16
4. その他の法定健康診断.....	17
①特殊健康診断（相模原キャンパス）.....	17
②雇入時の健康診断.....	18
③特定業務従事者健康診断.....	19
5. 健康診断証明書発行業務.....	19
①青山キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	19
②相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	20
6. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況.....	21
①青山キャンパス.....	21
②相模原キャンパス.....	22
7. 各キャンパス業務内容利用状況.....	23
①青山キャンパス.....	23
②相模原キャンパス.....	25
8. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況.....	26

9. 各種情報処理.....	27
①学生健康診断処理関係.....	27
②教職員健康診断処理関係.....	27

I.2016 年度業務報告

1. 年間業務内容

月	業務	対象	備考
4月	入学式(学部・大学院合同)(4/1) 学生定期健康診断(4/1・2・4~6) 定期健康診断未検者外部健診施設紹介及び事後処理 精神衛生相談(精神科医)開始(4/7~通年) 学生定期健康診断後の二次検診 腎・泌尿器二次検診 循環器二次検診及び循環器管理者検診<心電図・血圧・医師診察> 呼吸器二次検診<胸部X-P・医師診察> 内科・血圧二次検診 問診調査・聴力検査・視力再検査・有疾患者医師面接 尿検査未検者健診 介護体験実習用細菌検査受付開始(4/21~通年) 健康診断証明書発行業務 健康診断証明書発行(4/25~通年) 英文診断書発行(4/25~通年)	学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生	青山 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原
5月	特定化学物質・有機溶剤・電離放射線健康診断(5/11~13) 保健管理センター主催外部講師によるセミナー(5/19) 学生定期健康診断後の二次検診 腎・泌尿器二次検診 循環器二次検診及び循環器管理者検診<心電図・血圧・医師診察> 内科・血圧二次検診 問診調査・聴力検査・視力再検査・有疾患者医師面接 BMI有所見者保健指導 未検項目検診	学生・教職員 学生・保護者・教職員 学生 学生	相模原 青山・相模原中継 青山・相模原
6月	教職員疾病管理者検診及び保健指導 第67回東北学院大学対青山学院大学総合定期戦救護待機(6/4・5) 特定化学物質・有機溶剤・電離放射線二次検診、医師面接 医薬品在庫調査・常設救急箱点検 保健管理センターセミナー(6/7・14) 保健管理センター主催外部講師によるセミナー(6/15) Aoyama Rikei Girls フェア救護待機(6/18) 保健管理センター運営委員会(6/29)	教職員 学生 学生・教職員 保健管理センター 学生 学生 学生・教職員 受験生 運営委員	青山・相模原 青山 相模原 相模原 青山 青山・相模原中継 相模原 青山
7月	大学院博士前期課程7月入試救護待機(7/2) 保健管理センターセミナー(7/6) 第54回大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会(7/7・8) 専門職大学院入試救護待機(7/16・24) オープンキャンパス救護待機(7/17)	受験生 学生 保健センタースタッフ 受験生 受験生	相模原 青山 青山・相模原 青山 相模原
8月	オープンキャンパス救護待機(8/3・4・5) 専門職大学院入試救護待機(8/27・28)	来校者 受験生	青山 青山
9月	大学院博士前期課程9月入試救護待機(9/9・10) 推薦入試・特別入試救護待機(9/10・24) 総合防災訓練救護待機(9/15) 専門職大学院入試救護待機(9/17・24) 特定化学物質・有機溶剤・電離放射線健康診断(9/20・21) 青山学院大学同窓祭救護待機(9/22) 教職員定期健康診断(9/26・27) 教職員定期健康診断(9/27~30) 特定化学物質・有機溶剤・電離放射線健康診断(9/26・27)	受験生 受験生 学生・教職員 受験生 学生 学生 同窓生 教職員 教職員 教職員	相模原 青山 青山 青山 相模原 青山 相模原 青山 相模原 青山 相模原

月	業務	対象	備考
10月	第54回全国大学保健管理研究集会 (10/5・6) 専門職大学院入試救護待機 (10/8・9・10・22) 相模原祭救護待機 (10/8・9) 推薦入試救護待機 (10/15) 保健管理センターセミナー (10/19) 青山祭救護待機(10/28・29・30) 特定化学物質・有機溶剤・電離放射線二次検診、医師面接	保健センタースタッフ 受験生 学生・来校者 受験生 学生 学生・来校者 教職員	青山・相模原 青山 相模原 青山 青山 青山 相模原
11月	教職員健康診断二次検診 教職員疾病管理者の医師面接 教職員保健指導(11月～1月) 特別・推薦・編入・転学部・転学科試験救護待機(11/5・23・26) 特別・推薦入試(11/5・19) 学生疾病管理者・有患者面接・検査 (11/7～11/15) 八大学担当者会議(11/18) 保健管理センターセミナー(11/25) 専門職大学院入試救護待機(11/26)	教職員 教職員 教職員 受験生 受験生 学生 保健センタースタッフ 教職員 受験生	青山・相模原 青山・相模原 青山 青山 相模原 相模原 青山・相模原 青山 青山
12月	学生疾病管理者・有患者保健指導 (11/28～12/16) 保健管理センターセミナー (12/9) 専門職大学院入試救護待機 (12/10)	学生 教職員 受験生	青山 青山 青山
1月	教職員疾患管理者検診 大学入試センター試験救護待機 (1/14・15) 専門職大学院入試救護待機(1/28・29) 青山学院エバーグリーン募金イベント救護待機 (1/28)	教職員 受験生 受験生 来訪者	青山・相模原 青山 青山 青山
2月	一般入試救護待機(2/7・10・11・13・14・15・18・19・21) 専門職大学院入試救護待機 (2/4・18) 特定業務従事者健康診断(2/27)	受験生 受験生 教職員	青山 青山 相模原
3月	教職員疾病管理者検診(3/6～10) 専門職大学院入試救護待機 (3/4) 保健管理センターセミナー (3/7) 保健管理センターと学生食堂コラボ昼食メニュー提供 (3/7・8) 科目等履修生選考試験救護待機 (3/16) 学位授与式<学部・大学院>救護待機(3/25) 有疾患学生管理検診の通知発送 卒業生(有患者)進路調査 医薬品在庫調査・常設救急箱点検	教職員 受験生 教職員 学生・教職員 受験生 学生・来校者 学生 学生 保健管理センター	相模原 青山 青山 青山 青山 青山 青山・相模原 青山・相模原 青山

保健管理センター通年業務

- * 救急処置
- * 学生健康診断、教職員健康診断
- * 健康相談
- * 保健指導
- * 各種健康診断証明書発行
- * 各種届け出及び申請書の作成 (医療廃棄物処理・結核予防法)
- * 教職員の休職、復職支援、長時間労働等に関する産業保健業務
- * 診療及び保険診療報酬請求事務
- * 精神衛生相談
- * 集団健康教育
- * 各種業務統計(労働基準監督署・文部科学省・保健所・年報等)

2. 学生定期健康診断

①学生定期健康診断 受診状況（全キャンパス）

（2016年4月24日現在）

学部		学年・性別	学 年 別					性 別		合 計
			一年生	二年生	三年生	四年生	大学院 専門職大学院	男	女	
昼	文学部	学 生 数	788	864	781	808	—	819	2422	3241
		受診者数	769	743	684	690	—	689	2197	2886
	教育人間科 学部	学 生 数	313	359	345	318	—	398	937	1335
		受診者数	312	338	322	290	—	362	900	1262
	経済学部	学 生 数	553	647	542	601	—	1526	817	2343
		受診者数	548	557	464	496	—	1326	739	2065
	法学部	学 生 数	512	543	488	601	—	1192	952	2144
		受診者数	505	459	403	499	—	996	870	1866
	経営学部	学 生 数	560	567	529	610	—	1254	1012	2266
		受診者数	558	508	476	493	—	1112	923	2035
	国際政治経済 学部	学 生 数	297	320	325	360	—	582	720	1302
		受診者数	293	277	266	275	—	482	629	1111
	総合文化政策 学部	学 生 数	284	262	296	306	—	412	736	1148
		受診者数	275	235	267	263	—	353	687	1040
理工学部	学 生 数	649	627	808	578	—	2143	519	2662	
	受診者数	638	594	720	547	—	2003	496	2499	
社会情報学部	学 生 数	270	223	232	239	—	602	362	964	
	受診者数	269	202	200	208	—	537	342	879	
地球社会共生学部	学 生 数	256	214	34	—	—	181	323	504	
	受診者数	247	202	33	—	—	170	312	482	
昼間部合計	学 生 数	4482	4626	4380	4421	—	9109	8800	17909	
	受診者数	4414	4115	3835	3761	—	8030	8095	16125	
	受診率	98.5	89.0	87.6	85.1	—	88.2	92.0	90.0	
第 二 部	文学部	学 生 数	—	—	—	6	—	4	2	6
		受診者数	—	—	—	1	—	1	0	1
	経済学部	学 生 数	—	—	—	0	—	0	0	0
		受診者数	—	—	—	0	—	0	0	0
	経営学部	学 生 数	—	—	—	1	—	1	0	1
		受診者数	—	—	—	1	—	1	0	1
	第二部合計	学 生 数	—	—	—	7	—	5	2	7
受診者数		—	—	—	2	—	2	0	2	
受診率		—	—	—	28.6	—	40.0	0.0	28.6	
大学院・専門職大学院	学 生 数	—	—	—	—	1264	845	419	1264	
	受診者数	—	—	—	—	830	560	270	830	
	受診率	—	—	—	—	65.7	66.3	64.4	65.7	
総合計	学 生 数	4482	4626	4380	4428	1264	9959	9221	19180	
	受診者数	4414	4115	3835	3763	830	8592	8365	16957	
	受診率	98.5	89.0	87.6	85.0	65.7	86.3	90.7	88.4	

*上記は科目等履修生（学生数158名、受診者数13名、受診率8.2%）を除く

②学生定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

青山キャンパス

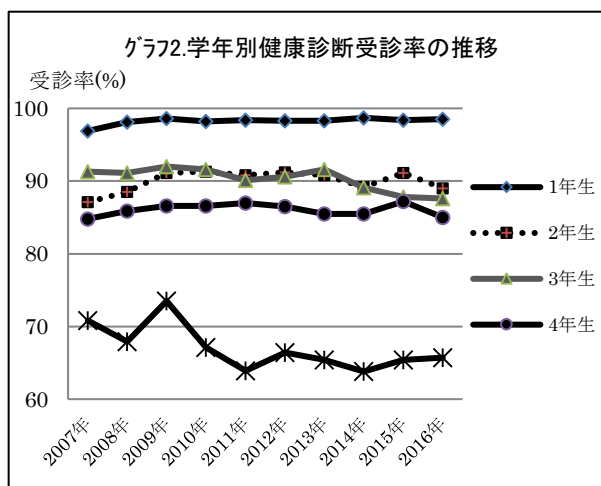
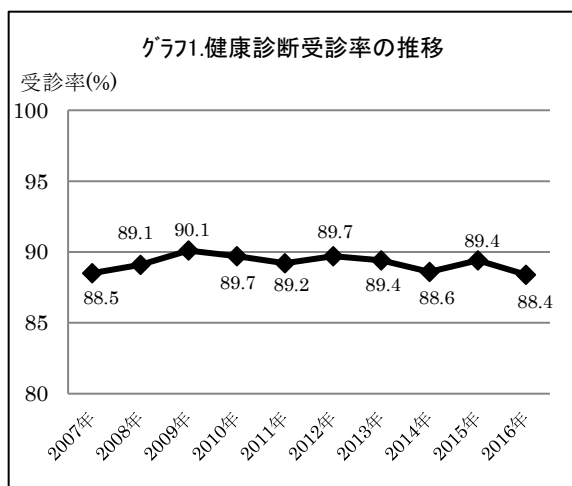
(2016年4月24日現在)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率(%)		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	14788	5560	7188	12748	82.3	89.5	86.2
問診	14788	5560	7188	12748	82.3	89.5	86.2
レントゲン	14788	5560	7184	12744	82.3	89.4	86.2
視力	11481	4124	5330	9454	77.8	86.3	82.3
内科診察	7983	3064	3836	6900	81.6	90.7	86.4
尿検査	7983	3072	3792	6864	81.9	89.6	86.0
血圧測定	3604	1352	1781	3133	83.7	89.5	86.9

相模原キャンパス

(2016年4月24日現在)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率(%)		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	4521	3041	1190	4231	92.9	95.5	93.6
問診	4521	3041	1190	4231	92.9	95.5	93.6
レントゲン	4521	3041	1190	4231	92.9	95.5	93.6
視力	3346	2270	807	3077	91.2	94.3	92.0
内科診察	2419	1673	644	2317	95.1	97.7	95.8
尿検査	2420	1670	625	2295	94.8	94.8	94.8
血圧測定	1064	640	366	1006	94.1	95.3	94.5



2016年の学生健康診断受診率は2015年に比較し若干減少したが、ここ10年、ほぼ横ばいの状態が続いている。混雑緩和と目的で学年、学部指定日を設けているが、指定日に都合のつかない学生に関しては指定日以外の受診も可能とし、また、健康診断当日には適宜混雑情報を学生ポータルに配信して受診を促しているものの、なかなか受診率の上昇にはつながらず課題が残る。学部別に受診率を比較すると、受診率が高いのは地球社会共生学部 95.6%、教育人間科学部 94.5%、理工学部 93.9%であり、低いのは国際政治経済学部 85.3%、法学部 87.0%である。学部による受診率の差は、毎年同じような傾向にある。

また、社会人学生の多い専門職大学院生の受診率は40%代と低迷が続いている。打開策として2015年度から勤務先の健康診断結果の提出を可として対応している。専門職大学院事務室を通してのアナウンスもあり、徐々にではあるが、勤務先での健康診断結果を提出する学生が増えてきている。

③学生定期健康診断 有所見者の経過 (全キャンパス)

健診項目	有所見者数	有所見率 (%)	有所見者の経過 ()内:人数			
			医師判定にて問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	未来室者数
レントゲン 間接撮影	273	1.61	異常なし (2) 所見あるも問題なし (247) 直接撮影・病院受診等にて異常なし (6)	左肺上野結節影 (1) 左肺下野粒状影 (1) 心拡大/心室中隔欠損 (1) 肋骨不全骨折疑い (1) 気胸 (1) 直接撮影にて経過観察 (2)	心拡大/心房細動 (1) 肺炎 (3) 気胸 (1) 病院結果未報告 (5) 突発性肺高血圧症のため治療中 (1)	0
レントゲン 直接撮影	5	40.0	異常なし (3)	心拡大 (1) 網状影 (1)		0
循環器 (心臓)	55	0.60	異常なし (2) 所見あるも異常なし (49) 病院受診で異常なし (1)	完全右脚ブロック (1)	心房細動 (1)	1
内科 (貧血・他)	65	0.71	異常なし (28) 所見あるも異常なし (13)	貧血 (2) 多結節性甲状腺腫 (1) 線腫様甲状腺腫 (2) 甲状腺腫 (1) 橋本病 (2)	鉄欠乏性貧血 (3) バセドウ病 (1) 甲状腺腫様 (1) 病院結果未報告 (8)	3
腎・泌尿器	260	2.84	再検査にて異常なし (164) 病院受診で異常なし (1)	IgA 腎症 (1) 一過性蛋白尿 (1) 尿潜血 (1) 慢性糸球体腎炎疑い (1) 糸球体腎炎・ナットクラッカー疑い (1) 無症候性血尿 (1) 起立性尿蛋白 (1) 尿蛋白 (30) 血尿・蛋白尿 (1) 血尿 (3) 尿沈渣以上 (5)	IgA 腎症 (4) 糖尿病 (3) エプスタイン症候群 (1) ナットクラッカー症候群 (1) 膜性腎症 (1) 血尿 (4) 病院結果未報告 (5)	30
血圧	108	2.61	所見あるも問題なし (102)	高血圧 (2)	0	4

学生定期健康診断における有所見者はのべ 766 人であった。有所見者に対しては再検査や病院紹介等を行っているが、精密検査の結果問題なしは 618 人、経過観察は 66 人、要治療 (治療中含む) の学生は 44 人であった。定期健康診断で発見された疾患は、バセドウ病、IgA 腎症、糖尿病、鉄欠乏性貧血などである。又、治療が必要にも関わらず治療を中断している学生や、循環器疾患等で経過観察を中断している学生、精神的な問題を抱えている事が明らかな学生に対しては、内科医や精神科医による医師面談等を実施し、受診奨励を行った。

④学生の身体状況 (肥満とやせ)

1) 身長・体重・BMI の平均値 性×学年別

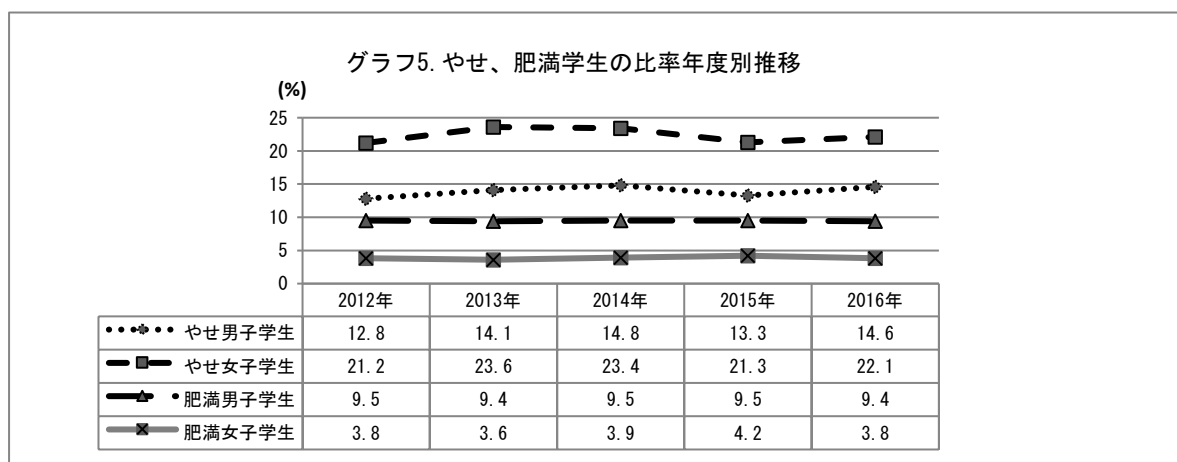
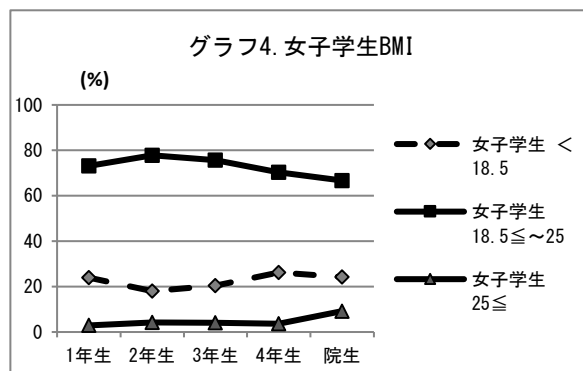
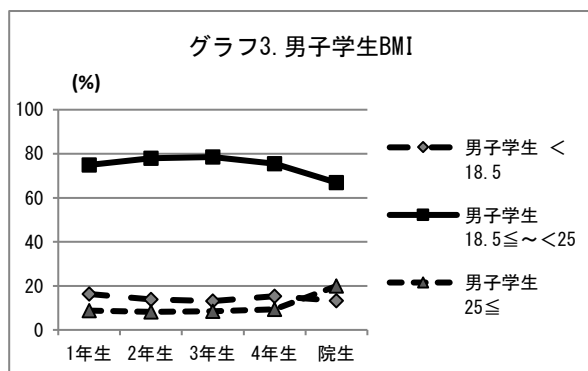
(2016年4月22日現在)

学年	男子学生				女子学生			
	身長	体重	BMI	平均年齢	身長	体重	BMI	平均年齢
1年生	171.5	62.1	21.1	18.4	158.7	50.7	20.1	18.2
2年生	172.0	62.8	21.2	19.5	158.8	51.8	20.5	19.2
3年生	172.1	62.9	21.2	20.6	158.8	51.6	20.4	20.4
4年生	171.9	62.8	21.2	21.9	158.9	50.6	20.0	21.5
大学院生 専門職大学院生	171.6	65.5	22.2	25.8	159.9	53.4	20.8	27.5
全体平均	171.8	62.8	21.2	20.4	158.8	51.2	20.3	20.0

2) 学年別やせの者・正常者・肥満者の割合 性×学年別

(2016年4月22日現在)

学年	男子学生			女子学生		
	<18.5 (やせ)	18.5≤~<25 (正常)	25≤ (肥満)	<18.5 (やせ)	18.5≤~<25 (正常)	25≤ (肥満)
1年生	16.3	74.9	8.8	23.9	73.7	2.9
2年生	13.9	77.9	8.2	18.0	77.8	4.2
3年生	13.1	78.5	8.4	20.4	75.6	4.0
4年生	15.3	75.5	9.3	26.2	70.3	3.7
大学院生 専門職大学院生	13.2	66.9	19.9	24.2	66.7	9.2
全体平均	14.6	76.0	9.4	22.1	74.1	3.8



平均身長、平均体重とも全学年を通して毎年大きな変化はない。体格指数 (BMI) を全国平均 (2010年学生の健康白書) と比較しても、男子学生はやせの割合がやや高く、肥満の割合がやや少ないのに対し、女子学生はやせの割合がかなり高く、肥満の割合が少ない傾向が続いている。

青山キャンパスでは、BMI15以下とBMI30以上の学生を対象に個別面談 (体調確認・保健指導) を行い、BMI30以上の学生に年2回、肥満予防に関する保健便りを発行している。やせの学生は22名中21名 (95.5%) が来室したが、肥満の学生については122名中50名 (41.0%) の来室にとどまっており、呼び出しのタイミングやアプローチの方法を工夫していく必要がある。相模原キャンパスではBMI15.4未満のやせの学生を対象に個別面談を行い、8名中7名 (87.5%) が来室した。

⑤ 学生集団健康教育

2016年度は、個別に健康相談・保健指導を実施すると共に、5つのテーマで学生集団健康教育に取り組んだ。保健管理センター内では「生理痛」「子宮頸がん」「睡眠」に関するセミナーを実施し、また、外部の講師を招いて「インターネット依存」「海外渡航時の健康管理」に関するセミナーを実施した。

健康面に何らかの不安や不調を感じていても、病院受診や検診は学生にとっては敷居が高く、誰にも相談しないまま放置

している学生も多い事がセミナーを通して窺えたが、セミナーから新たな気づきや解決方法を得る事ができたという事で、受講後のアンケート調査結果は概ね好評であった。

一方で、セミナー開催日を学生が参加しやすい時間帯、曜日に合わせて調整し、開催の告知方法も工夫したものの、参加数は昨年度と同様に少数にとどまった。セミナーにおける集団健康教育は、自らの健康を管理するための知識や実践力を習得し、健康への自己管理能力を身につけることに繋がり、個別の健康相談・健康教育とは異なる視点から、新たな情報を得る機会である。参加人数が少ないことで、学生の理解状況に合わせてセミナーを進行しやすく、個別相談にも応じることができるという利点はあるが、多くの学生の参加を目標に、学生のニーズにあったテーマの選択やセミナー開催の周知方法を、今後も検討していく必要がある。また、健康に関する相談窓口として保健管理センターが学生の選択肢の1つとなるよう、保健管理センターの機能や役割を、積極的にアナウンスしていくことも継続していかねばならない。

保健管理センター内で実施

テーマ	①女子大生の生理事情～生理痛、我慢しないで～
日時	2016年6月7日(火) 12:40～13:10
参加者	学生3名
講師	保健師
内容	1.生理痛の仕組みと原因 2.セルフチェック 3.生理痛対策 4.Q&A

テーマ	②早期発見・早期治療で治せる子宮頸がん
日時	2016年6月14日(火) 13:00～13:40
参加者	学生・教職員2名
講師	保健師
内容	1.子宮の構造と機能 2.がん統計 3.子宮頸がんの原因・予防法・ワクチンについて 4.Q&A

テーマ	③睡眠ミニ講座
日時	2016年7月6日(水) 15:00～16:00 2016年10月19日(水) 15:00～16:00
参加者	7/6 教職員含めて6名・10/19 学生1名
講師	非常勤精神科医
内容 (各日同内容)	1.不眠症と睡眠障害の種類 2.睡眠時間と生体リズム 3.睡眠不足が及ぼす身体的・精神的影響 4.睡眠に影響を及ぼす因子

外部講師を招いて実施

テーマ	①危ない!!知らない間にあなたはネット依存になっていませんか? ～治療の現場からみたネット依存の現状とその予防～
日時	2016年5月19日(木) 13:00～15:00
参加者	学生・教職員・保護者含めて41名
講師	独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 樋口 進医師
内容	1.ネット使用・依存の現状 2. ネット依存の症状と問題 3. 予防・治療方法

テーマ	②海外留学医療特別セミナー ～知って安心、留学前の安全基礎知識
日時	2016年6月15日(水) 14:30～16:00
参加者	学生・教職員含めて15名(他、外部参加者3名)
講師	千駄ヶ谷インターナショナルクリニック院長 篠塚 規医師(日本旅行医学会・理事)
内容	1.海外での事故・死亡統計 2.海外に持参すべき薬剤と安全カルテ 3.知っておくべき病気と予防接種

⑥感染症罹患報告者数

疾患名 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
結核	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザ	20	6	0	0	0	1	4	15	33	113	0	0	192
流行性耳下腺炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性角結膜炎	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	5
感染性胃腸炎	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
溶連菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
水痘	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
マイコプラズマ肺炎	0	1	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	6
O-157	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
伝染性単核球症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
咽頭結膜熱	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	25	8	7	2	0	1	5	19	33	113	0	0	213

感染症罹患報告者総数は213名であり、インフルエンザの報告が全体の約9割を占めている。今年度も、インフルエンザの流行時期と定期試験期間が重なり、1月のインフルエンザ罹患報告者数は増加した。4月にはO-157に罹患した学生が2名確認されたが、集団感染には至らなかった。

⑦学生の休学・退学者数

休学・退学事由		青山キャンパス	相模原キャンパス	合計
病気療養による 休学者数	精神疾患	38	7	45
	内科疾患・その他疾患	4	2	6
	不明	2	0	2
	合計	44	9	53
病気療養による 退学者数	精神疾患	9	2	11
	内科疾患・その他	3	0	3
	合計	12	2	14
死亡退学者数		1	0	1

2016年度の病気休学者数は例年と大きな変化はない。病気療養による休学者のうち、精神疾患の占める割合は84.9%であった。病気療養による退学者のうち、精神疾患の占める割合は78.6%であり、休学者、退学者共、身体疾患に比較し、精神疾患の割合が高くなっている。また精神疾患による休学者中、1年以上休学している学生は30%弱であり、その中で休学から退学に至る学生は40%弱であった。精神疾患を抱えた学生は学業継続が困難になる場合も多く、休学に至る前に保健管理センターとしても何らかの介入ができる事が望ましい。精神的な問題を抱えた学生が気軽に相談に訪れる事ができる場として、今後も保健管理センターの認識を高めていく必要がある。

3. 教職員定期健康診断

①教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

青山キャンパス

(2016年11月4日現在)

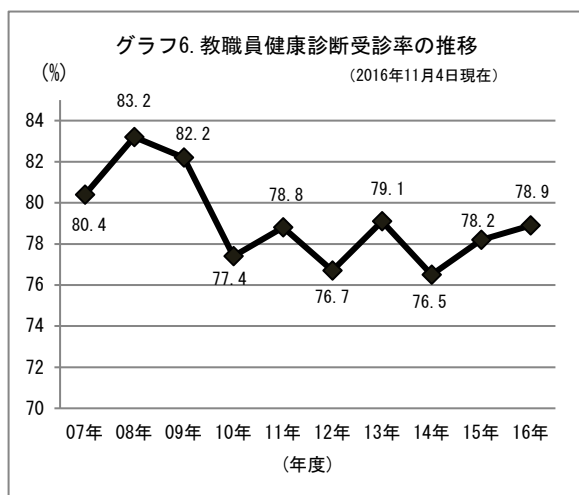
所 属	総対象者数	受診者数	人間ドック受診者数	受診率 %	項目別受診者数											
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的便潜血反応	肝炎ウイルス検査	生活調査
大学本務教員	392	242	51	74.7	237	216	242	241	220	241	188	242	215	194	26	242
大学兼務教員	3	2	0	66.7	2	1	2	2	2	2	1	2	1	1	0	2
本務職員(本部・大学)	358	273	61	93.3	261	156	273	268	243	273	130	273	153	142	14	273
兼務職員	89	73	5	87.6	70	44	73	71	57	73	41	73	45	36	14	73
幼稚園・本務兼務教職員	12	9	2	91.7	9	4	9	9	7	9	2	9	4	4	2	9
合計	854	599	119	84.1	579	421	599	591	529	598	362	599	418	377	56	599
有所見者数					48	53	69	21	361	121	20	202	279	11	10	

*人間ドック受診者数は2017年3月31日現在

相模原キャンパス

(2016年11月4日現在)

所 属	総対象者数	受診者数	人間ドック受診者数	受診率 %	項目別受診者数											
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的便潜血反応	肝炎ウイルス検査	生活調査
大学本務教員	200	151	9	80.0	148	92	151	149	108	151	80	151	92	81	5	151
大学兼務教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本務職員(本部・大学)	91	68	8	83.5	66	48	68	68	62	68	39	68	46	39	5	68
兼務職員	65	57	1	89.2	56	44	57	56	51	57	40	57	44	41	13	57
合計	356	276	18	82.6	270	184	276	273	221	276	159	276	182	161	23	276
有所見者数					4	24	33	18	187	6	17	88	76	12	0	



今年度も教職員健康診断の受診率向上が学院職員組織目標の一つであり、2015年度から引き続き保健管理センター、安全衛生委員会、人事部で、健康診断未受診者に対する働きかけを強化してきたが、毎年受診率を出す11月時点での受診率はほぼ横ばいの状況が続いている。

しかし、2月、3月に人間ドックを受診する教員が多い事から、別途年度末で最終的な受診率を算出したところ、2010年度から2014年度まで80%弱であった受診率が、2015年度は84.3%、2016年度は85.0%と上昇しており、強化策の若干の効果を認めた。

一方で15%弱の教職員は未受診のままであり、今後も引き続き受診奨励を行い、教職員の健康診断受診に対する認識を高めていく必要がある。

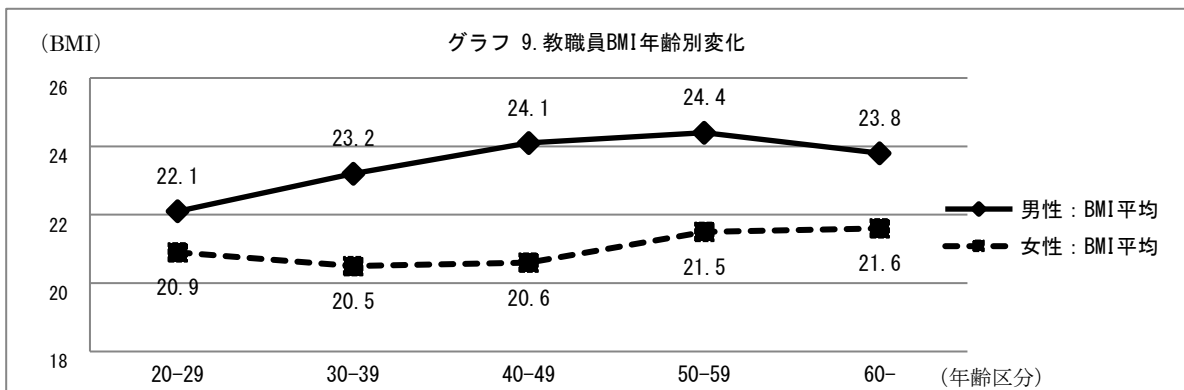
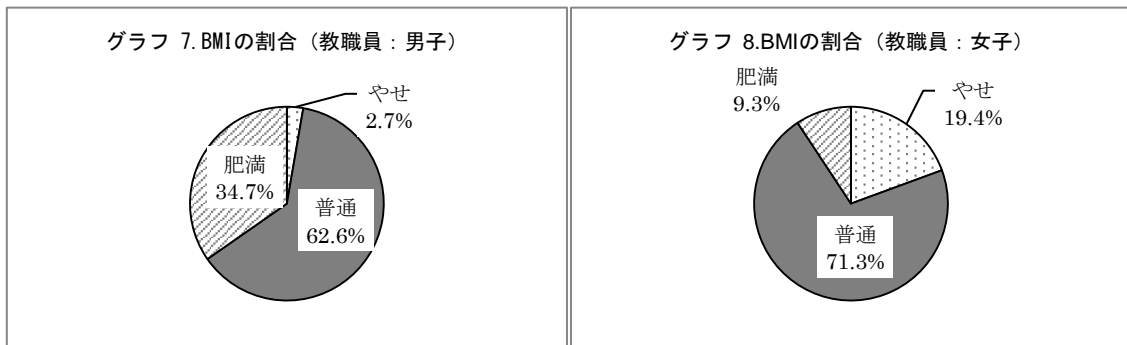
②教職員定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）

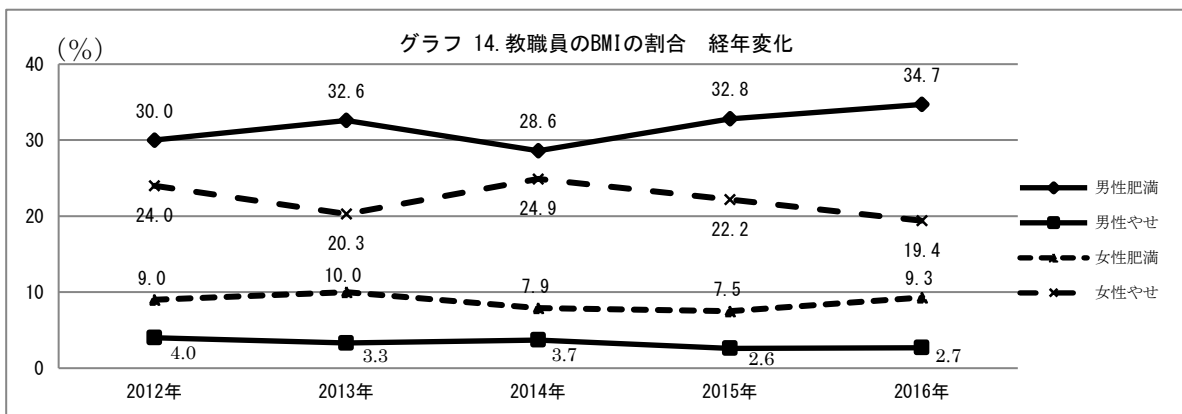
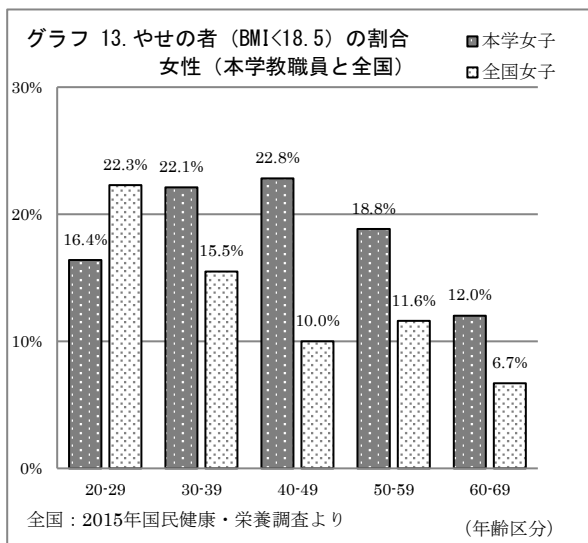
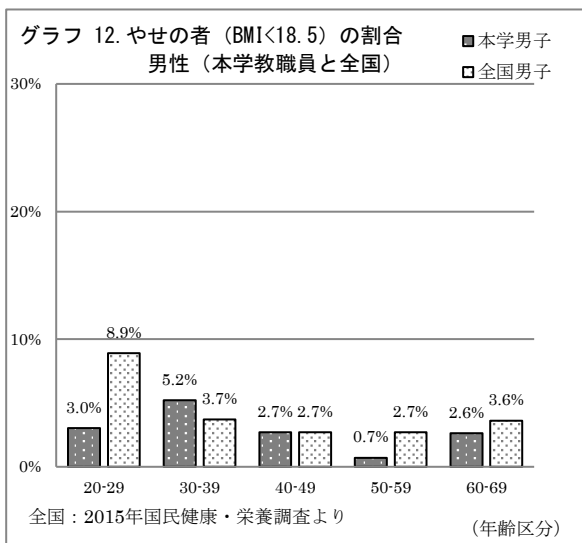
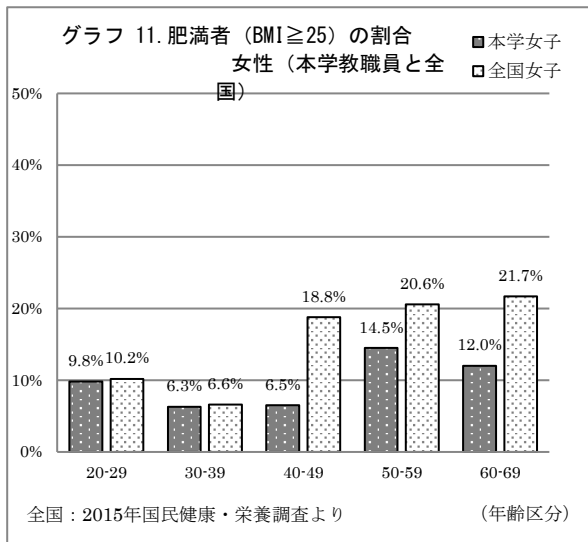
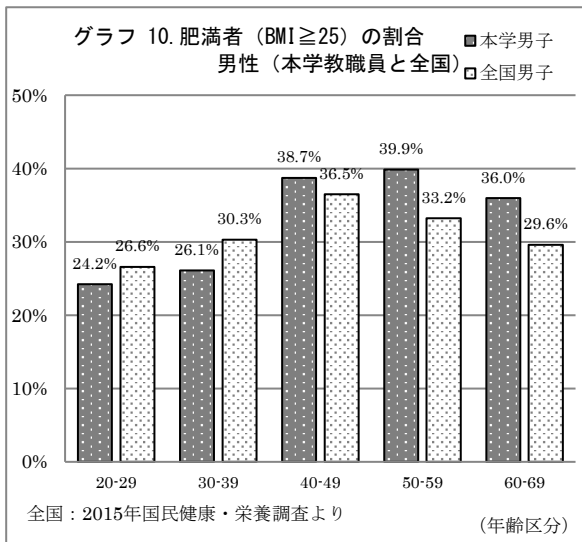
健診項目	有所見者数	有所見率 (%)	有所見者の経過			
			問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	未来室
胸部レントゲン	52	6.1	9	43	0	0
心電図	77	12.7	23	51	心筋梗塞後の心不全 (1) 心房細動 (1) ST下降 (1)	0
血圧	102	11.7	18	49	高血圧 (25) 病院受診結果報告未 (1)	9
尿検査	40	4.6	25	血尿 (2) 蛋白尿 (2) 尿糖 (1)	尿道炎(1)糖尿病(7) IgA腎症(1)血尿+蛋白尿 (1) 病院受診結果報告未 (1)	0
血液検査	547	72.9	156	脂質異常症 (209) 肝機能障害 (105) 貧血 (55) 耐糖能異常 (125) 腎機能障害 (13) 尿酸値異常(14)白血球高値(1)	脂質異常症(46)糖尿病 (27) 肝機能障害 (8) パセドウ氏病(1)貧血(3) 高尿酸血症 (3) 肝機能 (2) 腎機能障害 (1)	6
肝炎ウィルス検査	10	12.7	0	10	0	0
免疫学的便潜血反応	23	4.3	3	1	大腸ポリープ(3) 潰瘍性大腸炎(1) 内痔核 (3) 病院紹介結果未報告 (2)	4

教職員健康診断における有所見者数はのべ851人であった。項目別有所見率で見ると、昨年同様血液検査の有所見率が最も高く 72.9%を占めており、なかなか改善が認められない現状にある。引き続き、医師面接や保健指導、健康セミナー等を通じて、早期からの生活習慣病の改善や予防に努めていく必要がある。

③教職員の身体状況（肥満とやせ）

本学：教職員健康診断受診者 男性516人、女性366人より算出





教職員の体格指数 (BMI) の割合は、男性の肥満 34.7%、やせ 2.7%、女性の肥満 9.3%、やせ 19.4%であった。前年度と比較して男性の肥満は 1.9%、女性の肥満は 1.8%増加し、女性のやせは 2.8%減少した。例年、男性の肥満は 30 代までは全国平均を下回るが、40 歳以上では全国平均を上回ってくる。この傾向は本校における 40 歳以降の男性の職場環境による運動不足や食習慣に、肥満傾向を助長する何らかの要因があるのではないかと考えられ、保健指導などを通し、肥満改善に向けてのアプローチを継続していきたい。女性の肥満は全年代で全国平均を下回っているが、やせは 20 代で全国平均を下回り、30 代以降で全国平均を上回り、前年度同様 40-50 代は全国割合を大きく上回っている。

④保健指導と集団健康教育

【保健指導】

青山キャンパスでは、通常の健康診断事後措置（医師面談・受診勧奨）と共に、教職員に対して保健指導を行っている。2016年度の指導対象者は200名であり、その内54名（男性39名、女性15名）に対して個別に保健指導を実施することができた。保健指導実施率が昨年度と比較すると、23.2%から27%にやや上昇したものの、十分とは言えない。集団健康教育に関しても同様であるが、例年、保健指導の案内に応じた者の大半は職員であり、実施率の上昇（特に教員）に向けた取り組みのあり方を、引き続き検討していくことは課題の1つである。

【集団健康教育】

2016年度の集団健康教育は、コレステロールと食事の2つのテーマで実施した。

- ①「コレステロール～薬はいつから始めるべきか」は、教職員健診後に2回に分けて開催した。定期健診を受けた者の内、脂質検査値が基準値を超えている教職員の比率は全体の45.6%であり、積極的な質問や相談が多く寄せられた。
- ②「昼食セミナー～生活習慣が気になる方～」は、学生の利用が少ない3月に学生食堂を活用し、昼食休憩の時間帯に開催した。セミナー時には、バランスのいい食事を摂取しながら聴講できるよう、学生食堂と保健管理センターで量・質ともに満足感が得られるよう工夫した「600kcal以下+塩分3g以下」の限定メニューを提供した（実費参加者負担）。実際に食事を摂取したことで、普段摂取している主食（ご飯）の量や塩分濃度等、明らかな違いを体感でき、自己の食生活を改めて見直そうと思える強い意識づけに繋がったという評価が多く、総じて満足度の高いセミナーとなった。

テーマ	①コレステロール～薬はいつから始めるべきか
日時	2016年11月25日（金）13:30～14:15 2016年12月9日（金）13:30～14:15
参加者	11/25 教職員 10名・12/9 教職員8名
講師	循環器内科医（非常勤講師）
内容	1.コレステロールとは 2.脂質異常による身体への影響 3.脂質異常の原因と予防 4.脂質異常症のガイドラインと薬物療法 5.Q&A

テーマ	②昼食セミナー～生活習慣が気になる方～
日時	2017年3月7日（火）11:30～12:15 2017年3月8日（水）は食事の提供のみ実施 両日、限定メニュー50食ずつ販売
参加者	3/7 職員35名・バランス食は両日共完売
講師	栄養士
内容	1.限定メニューの紹介 2.生活習慣病とバランスのいい食事 3.必要なエネルギーとBMI 4.塩分摂取量のめやすと塩分の身体への影響 5.食事メニューの選び方と減塩のポイント

⑤教職員の休職・復職者数(対象:学院全体)

休職・復職事由	青山キャンパス			相模原キャンパス		
	休職	復職	再休職	休職	復職	再休職
精神的疾患	4	1	0	2	1	0
身体的疾患	0	1	0	0	0	0
合計	4	2	0	2	1	0
全教職員に対する 休職者の割合(%)	0.46	0.23	0	0.56	0.28	0

上記は療養就業規則上の休職者数である。2013年度より整備化された復職支援体制が軌道にのり、他職種との連携が取れるようになってきている。また、復職支援体制の強化により産業医・産業保健スタッフによる復職後ケアの充実を図り、今年度は再休職者の該当がなかった。今後も復職者に対し、職場上司・人事部・産業保健スタッフで連携を取りあい、再休職の防止策を図りたい。

⑥長時間労働者への産業医による面接

過重労働による健康障害を防ぐために、安全衛生法に従い、2015年3月より、長時間労働者（事務職員）に対する産業医による面接指導を実施した。

【面接指導対象者、及び指導項目】

残業時間（月）	疲労度チェック※1	産業医面接
法定外 80 時間越え	○	必須
法定外 60 時間越え	○	考慮※2

※1：対象者に対しては産業保健スタッフよりメールにて回答方法を案内。

※2：本人の面談希望、疲労度チェック（厚生労働省推奨）の結果、健康診断などにより産業医が実施について判断。

面接指導対象者数

対象者・指導項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
残業時間法定外 80時間越え対象者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
残業時間法定外 60時間越え対象者数	5	2	3	2	0	0	4	2	0	0	2	4	24
疲労度チェック回答数	6	2	3	2	0	0	4	2	0	0	2	4	25
医師面談数	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	6

2016年度の上記対象者において、就業上配慮を要するケースはなかった。長時間労働が継続する者が限定されているが、定期的な長期休暇（夏季休暇、年末年始の休暇）等にて休養がとれている状況にある。

学院全体として、突出した長時間労働がほぼなくなり、法定外の残業時間が減少傾向にある。これは、学院の長時間労働抑制のための対策が軌道に乗ってきたと考えられる。

⑦ストレスチェック受検率に関する報告(対象:学院全体)

平成26年の労働安全衛生法の改正により、事業者に対しストレスチェックの実施が義務付けられ、今年度より教職員に対しストレスチェックを実施した。

【実施期間】 2016年11月14日～12月2日

【対象】 定期健康診断対象者で2016年10月1日時点在籍の教職員

【実施方法】 ティーペック（株）ストレスチェック web システムを採用（若干名、ペーパー受検者あり）

【周知方法】 ストレスチェック実施説明会、教職員ポータル、学部長会、教授会、事務連絡会等

全体受検率

対象人数	受検人数	受検率
1503	914	60.8%

実施初年度の受検率は学院全体で60.8%であった。学院内の設置学校により大きく受検率のばらつきがあり、受検案内に関する周知等を再検討する必要がある。また、職種によっても受検率に大きな差があることから受検に対する周知・徹底は今後の大きな課題となる。

高ストレス判定者の抽出に関しては、今年度、厚生労働省の定めた判定基準を採用し実施した。学院全体の高ストレス判定者は、全体的には平均的、もしくはややストレス状態が低い状態との結果がでた。しかし、所属先によっては全国平均を上回る部署もあり、今後はストレス度の高い職場に対し介入を検討していく必要がある。今後も関連部署と連携をとりながらメンタルヘルスのフォロー体制を強化し、教職員の職場に対するストレス軽減に努めていきたい。

4. その他の法定健康診断

①特殊健康診断（相模原キャンパス）

1) 特殊健康診断実施者数

(2017年3月31日現在)

項目	内訳	対象者数 (人)			受診者数 (人)			受診率 (%)		
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計
春期特殊健康診断		33	224	257	33	224	257	100.0	100.0	100.0
内訳	電離放射線	30	168	198	30	168	198	100.0	100.0	100.0
	有機溶剤	9	162	171	9	162	171	100.0	100.0	100.0
	特定化学物質	15	162	177	15	162	177	100.0	100.0	100.0
秋期特殊健康診断		34	162	196	34	162	196	100.0	100.0	100.0
内訳	電離放射線	30	—	30	30	—	30	100.0	—	100.0
	有機溶剤	8	162	170	8	162	170	100.0	100.0	100.0
	特定化学物質	14	162	176	14	162	176	100.0	100.0	100.0

※四捨五入

2) 電離放射線健康診断結果

(2017年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数 (人)			有所見者数 (人)			有所見率 (%)			再検査・精査 (人)		経過観察 (人)		備考
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	教職員	学生	
春期	電離放射線使用による健康障害	30	168	198	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	白血球数・白血球百分率検査	30	168	198	4	27	31	13.3	16.1	15.7	0	0	4	27	
	貧血検査	30	168	198	2	0	2	6.7	0.0	1.0	0	0	2	0	
	水晶体・皮膚所見	30	168	198	0	1	1	0.0	0.6	0.5	0	0	0	1	
	自覚症状検査	30	168	198	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
秋期	電離放射線使用による健康障害	30	—	30	0	—	0	0.0	—	0.0	0	—	0	—	
	白血球数・白血球百分率検査	30	—	30	5	—	5	16.7	—	16.7	1	—	4	—	
	貧血検査	30	—	30	1	—	1	3.3	—	3.3	0	—	1	—	
	水晶体・皮膚所見	30	—	30	0	—	0	0.0	—	0.0	0	—	0	—	
	自覚症状検査	30	—	30	0	—	0	0.0	—	0.0	0	—	0	—	

※四捨五入

3) 有機溶剤健康診断結果

(2017年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数 (人)			有所見者数 (人)			有所見率 (%)			再検査・精査 (人)		経過観察 (人)		備考
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	教職員	学生	
春期	有機溶剤による健康障害	9	162	171	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	蛋白尿	9	162	171	1	4	5	11.1	2.5	2.9	1	0	0	4	
	貧血検査	0	162	162	0	2	2	0.0	1.2	1.2	0	0	0	2	貧血/ミンフレット配布 (2人)
	肝機能検査	1	162	163	0	14	14	0.0	8.6	8.6	0	2	0	12	
	尿代謝物検査	5	0	5	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	自覚症状検査	9	162	171	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
秋期	有機溶剤による健康障害	8	162	170	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	蛋白尿	8	162	170	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	貧血検査	0	162	162	0	3	3	0.0	1.9	1.9	0	1	0	2	貧血/ミンフレット配布 (1人)
	肝機能検査	1	162	163	0	16	16	0.0	9.9	9.8	0	1	0	15	
	尿代謝物検査	4	0	4	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	自覚症状検査	8	162	170	0	4	4	0.0	2.5	2.4	0	0	0	4	

※学生の有機溶剤健康診断結果は特定化学物質健康診断を兼ねてカウント。

4) 特定化学物質健康診断結果

(2017年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数	有所見者数	有所見率	再検査・精査	経過観察	
		(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	
		教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	
春 期	特定化学物質による健康障害	15	0	0.0	0	0	
	自覚症状調査	15	0	0.0	0	0	
	尿蛋白・尿潜血	9	0	0.0	0	0	
	肺活量	0	0	0.0	0	0	
	胸部直接撮影	2	1	50.0	0	1	
	血圧測定	0	0	0.0	0	0	
	尿カビリンゲン	2	0	0.0	0	0	
	貧血検査・白血球数	3	0	0.0	0	0	
	全血比重	3	0	0.0	0	0	
	握力	0	0	0.0	0	0	
	鼻・菌の所見	2	0	0.0	0	0	
	肝機能検査	9	1	11.1	0	1	
	皮膚所見	9	0	0.0	0	0	
	延べ人数合計	69	2	—	0	2	
秋 期	特定化学物質による健康障害	14	0	0.0	0	0	
	自覚症状調査	14	0	0.0	0	0	
	尿蛋白・尿潜血	9	0	0.0	0	0	
	肺活量	0	0	0.0	0	0	
	胸部直接撮影	2	1	50.0	0	1	
	血圧測定	0	0	0.0	0	0	
	尿カビリンゲン	2	0	0.0	0	0	
	貧血検査・白血球数	3	0	0.0	0	0	
	全血比重	3	0	0.0	0	0	
	握力	0	0	0.0	0	0	
	鼻・菌の所見	2	0	0.0	0	0	
	肝機能検査	9	0	0.0	0	0	
	皮膚所見	9	0	0.0	0	0	
	延べ人数合計	67	1	—	0	1	

昨年度より有所見者は増加したが大半は所見あるも問題なく経過観察であり、医師の指示があった教職員・学生はパンフレット3名・再検査6名・病院紹介1名と前年度より減少した。

②雇入時の健康診断

1) 雇入れ時健康診断受診者数 *外部医療機関にて実施*

(2017年3月31日現在)

所属	月													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
本部	17	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	19	
大学	67	2	3	4	1	5	7	1	1	2	0	1	94	
女子短期大学	20	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	21	
高等部	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
中等部	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
初等部	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
幼稚園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	118	2	4	4	1	8	8	1	2	2	0	1	151	

2) 雇入時の健康診断有所見者の経過

検査項目	有所見者数	再検査	経過観察	病院受診	病院受診結果	治療中
胸部レントゲン	16	0	11	5	未受診 (2) 異常なし (2) 経過観察 (1)	
心電図	15	0	14	1	経過観察 (1)	
血圧	12	0	12	0		
尿検査	6	0	4	2	未受診 (1)	治療中 (1)
血液検査	72	0	62	10	未受診 (6) 異常なし (1) 経過観察 (1)	治療中 (2)

雇入時健康診断実施者 151 名中、有所見者は 94 名と約半数以上に及ぶ。有所見で多いのは、脂質異常症 49 名、肝機能障害 28 名で、その他に貧血、糖代謝異常、高血圧を認めた。また、肥満者は 25 名、やせの者は 15 名であった。2016 年度の雇入時健康診断実施者の平均年齢は 37.1 歳だが、昨年に引き続き、雇入時から既に生活習慣病関連項目の有所見率は高く、雇入後の健康管理を要する。

③特定業務従事者健康診断

2016 年度の対象者 1 名は、高血圧のため内服治療中により数値は正常範囲内であり他の項目でも有所見は認められなかった。内服治療中のため、定期健康診断でも経過観察していく。

5. 健康診断証明書発行業務

①青山キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2017年3月31日現在)

内訳		月													合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
自動 発行 内訳	1年生	人数	23	14	15	17	3	12	7	3	3	3	0	0	100
		枚数	23	14	15	17	3	12	7	3	3	3	0	0	100
	2年生	人数	7	10	18	15	4	12	3	3	1	2	1	4	80
		枚数	7	10	18	15	4	12	3	3	1	2	1	4	80
	3年生	人数	17	20	46	39	38	38	24	18	8	24	14	92	378
		枚数	18	20	49	40	40	38	24	18	8	24	14	105	398
	4年生	人数	305	1076	745	395	133	253	115	54	23	47	27	29	3202
		枚数	388	1308	827	445	166	279	124	58	24	52	32	30	3733
	大 学 院 生	人数	5	15	8	7	3	6	5	1	1	3	0	13	67
		枚数	8	20	10	7	3	7	7	1	1	3	0	15	82
	専門職大 学院生	人数	1	8	5	5	3	2	3	3	1	0	1	3	35
		枚数	1	8	5	9	5	2	3	3	1	0	1	3	41
	科目等 履修生	人数	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	5
		枚数	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	5
窓口発行 含英文添書	人数	5	13	7	6	1	5	8	8	1	1	0	20	75	
	枚数	7	16	8	6	1	5	8	8	1	1	0	21	82	
合 計	人数	364	1156	845	485	185	328	165	91	38	80	43	162	3942	
	枚数	453	1396	933	540	222	355	176	95	39	85	48	179	4521	

②相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2017年3月31日現在)

内訳		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動発行内訳	1年生	人数	1	1	4	6	0	6	1	3	0	3	2	0	27
		枚数	1	1	4	6	0	6	1	3	0	3	2	0	27
	2年生	人数	0	5	1	3	0	1	1	0	0	0	1	1	13
		枚数	0	5	1	3	0	1	1	0	0	0	1	1	13
	3年生	人数	0	5	3	12	9	3	11	1	4	4	6	30	88
		枚数	0	5	3	12	9	3	11	1	4	4	7	45	104
	4年生	人数	95	241	154	62	24	48	30	13	4	4	3	9	687
		枚数	123	311	181	72	30	54	31	13	4	4	4	9	836
	大 学 院 生	人数	40	70	45	18	7	6	7	0	1	3	0	26	223
		枚数	49	86	55	23	11	6	9	0	1	3	0	31	274
	科目等履修生	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
窓口発行 含英文診断書	人数	4	4	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	12	
	枚数	8	7	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	19	
合 計	人数	140	326	210	101	40	64	50	17	10	15	12	66	1051	
	枚数	181	415	247	116	50	70	53	17	10	15	14	86	1274	

健康診断証明書発行枚数は昨年より大幅に減少した。2016年度の就職率は前年とほとんど変化はなく、証明書発行料金の値上げで必要最小限の発行に止まったと思われる。

6. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況

①青山キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2017年3月31日現在)

所属		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	昼間部	男	216	147	105	84	7	41	65	58	79	62	9	6	879
		女	1112	275	187	177	15	73	112	110	109	70	9	19	2268
	夜間部	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	男	17	20	14	19	9	28	29	65	49	22	14	27	313	
	女	18	10	15	12	12	28	57	63	49	25	18	41	348	
その他			4	2	2	10	12	4	11	16	2	8	43	2	116
合計			1367	454	323	302	55	174	274	312	288	187	93	95	3924

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧		51	27	19	22	7	6	16	19	12	11	11	9	210
	検尿		957	70	38	23	1	6	29	7	7	4	1	0	1143
	検便		2	3	4	35	8	15	22	9	1	1	0	0	100
	血液		10	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	14
	視力		74	1	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	81
	心電図		1	0	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0	6
	計測		46	53	65	83	7	33	65	47	53	55	26	17	550
	聴力		0	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	自動血圧計		28	109	25	58	11	29	22	31	13	21	2	0	349
	体脂肪計		1	23	22	5	0	0	2	0	2	10	0	0	65
処置	投薬		22	36	32	44	4	20	18	32	20	27	12	7	274
	処置		34	26	49	51	9	29	76	51	37	31	20	10	423
	ベッド休養		56	56	65	81	8	39	61	45	52	46	24	14	547
	医師診療		84	43	36	25	4	16	18	43	35	27	48	22	401
	病院紹介		33	27	23	29	4	9	29	30	15	18	8	7	232
	救急車		0	2	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	7
	病院搬送		0	1	3	3	0	1	1	1	0	0	0	0	10
	保健指導		2	18	28	8	2	5	5	46	27	14	1	1	157
問診調査・相談		95	188	61	42	18	41	50	71	114	47	20	38	785	
合計			1496	692	479	512	85	249	416	433	391	312	174	126	5365

(症状・疾患別利用者数)

症状・疾患	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃腸症状		16	15	9	24	1	8	11	19	13	11	10	6	143
感冒		20	36	32	35	1	17	46	36	34	34	3	3	297
頭痛		4	12	11	15	5	12	12	8	14	16	7	5	121
気分不快		30	22	29	29	4	12	11	11	16	8	11	5	188
貧血		3	2	0	0	2	3	4	3	6	0	2	3	28
切傷		7	1	3	5	1	0	5	4	5	3	2	4	40
外傷		16	14	22	25	4	14	31	16	11	7	9	1	170
化膿		0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	5
捻挫・打撲		9	7	14	13	0	4	12	7	9	7	3	2	87
骨折・脱臼		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腰・筋肉痛		2	0	0	4	0	2	3	1	0	0	1	1	14
火傷		0	0	1	7	1	3	2	2	1	0	1	0	18
皮膚疾患		7	2	4	7	0	1	5	4	1	2	1	0	34
昆虫刺傷		0	2	3	3	1	1	3	1	0	0	0	0	14
眼疾患		2	3	5	2	0	2	2	0	1	0	1	0	18
歯疾患		2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
耳鼻科疾患		0	2	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1	9
生理痛		8	13	8	14	0	7	12	10	10	11	1	0	94
泌尿器疾患		0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
口腔疾患		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
精神疾患		7	8	33	20	2	13	18	18	20	20	8	7	174
その他の疼痛		2	5	4	4	1	1	7	6	1	3	1	2	37
その他		12	13	16	22	3	10	15	23	6	6	10	5	141
合計		148	158	196	231	26	111	201	174	149	129	72	45	1640

②相模原キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2017年3月31日現在)

所属		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	昼間部	男	92	51	37	26	5	23	20	48	18	11	3	5	339
		女	176	45	17	25	3	13	26	38	11	8	2	2	366
	夜間部	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	男	16	6	15	3	3	10	17	29	11	21	5	17	153	
	女	9	5	4	5	1	4	27	24	3	5	3	10	100	
その他			0	0	1	3	0	1	0	0	0	0	1	2	8
合計			293	107	74	62	12	51	90	139	43	45	14	36	966

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧		3	5	2	7	2	6	3	1	4	1	2	0	36
	検尿		153	7	1	0	0	0	20	1	0	0	1	0	183
	検便		1	0	0	8	1	4	19	2	0	1	0	0	36
	血液		1	0	5	0	0	0	2	6	1	1	0	7	23
	視力		3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9
	心電図		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	計測		8	21	19	12	3	7	11	5	23	12	4	4	129
	聴力		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	自動血圧計		32	12	12	21	0	26	9	17	8	36	1	5	179
体脂肪計		3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
処置	投薬		8	15	18	15	2	6	12	11	14	14	3	9	127
	処置		15	14	29	22	6	21	21	14	6	4	2	5	159
	ベッド休養		8	9	10	13	2	2	5	4	8	7	1	2	71
	医師診療		37	9	11	7	1	6	7	34	7	10	2	8	139
	病院紹介		14	12	9	3	0	1	3	14	5	3	1	2	67
	救急車		0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	5
	病院搬送		1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4
	保健指導		40	15	3	0	0	1	3	0	0	4	0	0	66
問診調査・相談		18	34	5	5	3	12	12	77	3	6	5	7	187	
合計			348	161	127	115	20	93	127	186	80	99	26	49	1431

(症状・疾患別利用者数)

症状・疾患	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃腸症状		4	5	3	5	2	3	4	3	5	4	2	3	43
感冒		6	7	14	8	1	3	10	8	14	9	2	3	85
頭痛		4	10	5	7	0	5	1	0	2	3	1	1	39
気分不快		0	2	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	8
貧血		3	0	0	2	0	2	2	0	3	2	0	3	17
切傷		3	2	4	1	0	3	2	1	4	1	2	3	26
外傷		1	5	12	6	4	6	6	1	0	0	0	0	41
化膿		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
捻挫・打撲		6	3	5	4	1	7	7	3	0	1	1	1	39
骨折・脱臼		0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4
腰・筋肉痛		0	3	2	1	0	0	1	1	1	4	0	2	15
火傷		4	1	2	2	0	0	3	2	0	0	0	0	14
皮膚疾患		1	1	0	2	0	0	1	1	2	1	0	0	9
昆虫刺傷		0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
眼疾患		0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	7
歯疾患		0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
耳鼻科疾患		0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
生理痛		3	0	1	2	0	1	2	2	0	1	0	0	12
泌尿器疾患		0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
口腔疾患		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
精神疾患		5	5	3	4	0	0	1	3	3	5	2	5	36
その他の疼痛		3	4	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	14
その他		24	5	8	5	2	11	6	10	5	12	3	13	104
合計		68	60	67	54	11	43	51	38	40	46	13	36	527

年間入室者数は前年度と著変なし。症状・疾患別利用者は、例年と同様、感冒、頭痛、胃腸症状が上位を占めている。ベッド休養者数が2015年度は53件だったのに対し、2016年度は71件と増えており冬はインフルエンザ疑いの学生の利用頻度が多かったが、年間を通してみると頭痛のためベッド休養をする学生の数が増えている。

7. 各キャンパス業務内容利用状況

①青山キャンパス

1) 保健管理センター全来室者数

(2017年3月31日現在)

来室理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康診断者数	12747	0	0	0	0	599	0	0	0	0	0	0	13346
外部受診者数	27	35	19	24	4	8	3	1	1	0	2	2	126
保険診療者数	2	2	2	1	1	2	2	1	3	0	0	2	18
証明書発行者数	5	13	7	6	1	5	8	8	1	1	0	20	75
救急処置・検査等	1367	454	323	302	55	174	274	312	288	187	93	95	3924
自動血圧計	28	109	25	58	11	29	22	31	13	21	2	0	349
体脂肪計	1	23	22	5	0	0	2	0	2	10	0	0	65
合計	14177	636	398	396	72	817	311	353	308	219	97	119	17903

保健管理センター全来室者数は、ほぼ例年通りである。救急処置・検査等での来室者の内訳では、2015年度と比較し、捻挫や打撲、転倒、外傷などに対するの処置件数が288件から423件と増加していた。頭痛や気分不快などでベッドを利用した学生も484件から547件と増加傾向にあった。

例年4月は学生健康診断後の有所見者の呼出しを行っているため来室者が特に多く、今年も1367人の学生、教職員が保健管理センターを利用している。同一時間に保健スタッフ全員が来室者に対応する事もあり、個室の確保に苦慮する現状が続いている。健康相談や保健指導はプライバシーを確保したおちついた空間で実施する事が望ましく、引き続き保健管理センタースペースの拡張を要望していきたい。

2) 精神衛生相談者数（精神科医）

(2017年3月31日現在)

身分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	1	4	8	8	0	2	5	10	5	7	1	1	52
教職員	5	3	4	2	2	3	0	3	2	3	3	1	31
合計	6	7	12	10	2	5	5	13	7	10	4	2	83

精神衛生関係の相談件数は、2015年度の147件から174件へと増加している。保健スタッフによる健康相談、あるいは学生相談センターカウンセラーからの依頼で、精神科医による精神衛生相談につなげた学生の件数は52件であった。保健管理センター精神科医との面談の結果、治療が必要であると判断された場合は精神科へ紹介すると共に、精神的に不安定な状況の時には、保健スタッフが落ち着くまで話を聞き、また、ベッド休養を促すなどの対応を行っている。場合によっては保護者に迎えを依頼する事もある。

3) 事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2017年3月31日現在)

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身分	学生	0	3	5	2	0	1	0	1	1	0	0	13
	教職員・その他	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	4
合計	0	3	5	3	1	1	1	2	2	1	0	0	17
原因	事故	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	疾病	0	3	4	2	1	1	1	2	1	0	0	15
対応	救急車依頼	0	2	2	0	1	0	0	1	1	0	0	7
	病院搬送	0	1	3	3	0	1	1	1	0	0	0	10

救急車の搬送は7件で、今年度は外傷による救急搬送は0件で、すべて内科疾患であった。7件のうち1件はオープンキャンパス来訪者、1件は公開講座受講者と学外の者で、高齢者の心肺停止状態の救急搬送を含んだ。また、救急搬送とは別に、警備員を通して、大学前の路上で事故にあった通行人の救急対応に呼ばれる状況もあった。学外の者は、氏名も既往歴、現病歴等も不明な場合も多く対応に苦慮する事もあるが、今後も同一の状況下での救急対応を想定しておく必要がある。

4) 夜間開室時間帯の利用者数（救急処置・検査等保健管理センター利用状況）（2017年3月31日現在）

内訳 月	身 分						その他	合計	内 容								時 間	
	昼間部		夜間部		教職員				投 薬	処 置	ベ ッド 休 養	医 師 面 接	病 院 紹 介	問 診	再 検 査 等	その他	17:00 18:00	18:00 19:00
	男	女	男	女	男	女												
4月	6	15	0	0	1	0	1	23	1	10	6	0	1	2	1	7	14	9
5月	6	7	0	0	0	1	0	14	2	4	4	1	2	1	1	3	8	6
6月	7	8	0	0	3	1	0	19	0	6	3	1	3	4	0	5	12	7
7月	6	9	0	0	3	1	0	19	1	2	4	1	3	10	0	4	9	10
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	3	3	0	0	0	0	0	6	2	1	0	0	2	1	0	0	0	6
10月	3	4	0	0	1	2	2	12	1	4	2	2	2	4	0	2	7	5
11月	2	5	0	0	3	3	2	15	2	3	2	3	2	2	0	1	7	8
12月	4	7	0	0	1	3	0	15	0	4	4	0	2	5	0	5	9	6
1月	4	5	0	0	0	1	1	11	2	4	3	1	1	1	0	4	8	3
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	41	63	0	0	12	12	6	134	11	38	28	9	18	30	2	31	74	60

17時以降の利用者数は、昨年度とほぼ同様の件数であった。

②相模原キャンパス

1) 保健管理センター全来室者数

(2017年3月31日現在)

来室理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康診断者数	4231	177	0	0	0	490	0	0	0	0	0	1	4899
外部受診者数	5	4	5	3	0	3	2	0	0	0	0	0	22
保険診療者数	2	0	2	0	1	1	0	2	0	2	0	0	10
証明書発行者数	4	4	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	12
救急処置・検査等	293	107	74	62	12	51	90	139	43	45	14	36	966
自動血圧計	32	12	12	21	0	26	9	17	8	36	1	5	179
体脂肪計	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
合計	4570	305	98	86	13	571	101	158	52	83	15	42	6094

2) 精神衛生相談者数 (精神科医)

(2017年3月31日現在)

人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	2	2	1	1	0	0	0	3	2	4	1	0	16

3) 事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2017年3月31日現在)

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身分	学生	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4
	教職員・その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	6
原因	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	疾病	0	2	0	2	0	0	0	0	1	0	1	6
対応	救急車依頼	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	1	5
	病院搬送	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

春は学生健康診断後の呼出し等のため、及び秋は教職員健康診断後の呼出し等のため、比較的来室者数が多くなる傾向にあるが、保健管理センター来室者は前年度と著変なし。精神衛生相談者数も前年度と著変なし。昨年度は救急搬送0件だったが、今年度は救急車依頼5件・病院搬送1件であった。

8. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況

実施日		キャンパス	行事内容	男	女	合計	内容	
2 0 1 6 年	4/1	金	青	入学式	2	3	5	打撲(1)皮膚疾患(1) 気分不快(1)その他(2)
	6/4・5	土・日	青	東北学院対青山 総合定期戦	0	1	1	気分不快(1)
	6/18	土	相	Aoyama Rikei Girls フェア	1	0	1	感冒症状 (1)
	7/2	土	相	大学院博士前期課程入試	0	0	0	
	7/16・24	土・日	青	専門職大学院入試	0	2	2	気分不快(1)生理痛(1)
	7/17	日	相	オープンキャンパス	0	4	4	アレルギー症状 (1)、靴擦れ (1)、外傷 (1)、腹痛 (1)
	8/3-5	水-金	青	オープンキャンパス	2	21	23	切創(1)外傷(2) 胃腸症状(1) 頭痛(2) けいれん発作(1)気分不快(5)その他 (10)
	8/27・28	土・日	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	9/10	土	相	大学院博士前期課程入試	0	0	0	
	9/10	土	青	推薦入試	0	1	1	眼瞼腫脹(1)
	9/17・24	土	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	9/22	木	青	青山学院大学同窓祭	1	1	2	胃腸症状(1)外傷(1)
	9/24	土	青	特別入試	0	0	0	
	10/8・9・ 10/10・22	土・日・月	青	専門職大学院入試	1	3	4	打撲(1)胃腸症状(1)頭痛(1)切創(1)
	10/8・9	土・日	相	相模原祭	0	4	4	切傷 (1) 外傷 (1) 捻挫 (1) 火傷 (1)
	10/15	土	青	推薦入試	0	0	0	
	10/28-30	金-日	青	青山祭	6	10	16	感冒症状(4)頭痛(1)気分不快(1)切創(1) 膝の痛み(1) 気分不快(1)切傷(1)外傷(3) コンタクトトラブル(1)その他(2)
	11/5	土	青	特別入試	2	0	2	眩暈(1)切傷(1)
	11/5	土	相	特別入試	0	1	1	打撲(1)
	11/19	土	相	推薦入試	0	1	1	感冒症状 (1)
11/23	水	青	推薦入試	1	0	1	感冒症状 (1)	
11/26	土	青	専門職大学院入試・編転入試 推薦入試	1	4	5	外傷(3)貧血様症状(1)熱傷(1)	
12/10	土	青	専門職大学院入試	0	2	2	打撲(1)捻挫(1)	
2 0 1 7 年	1/14・15	土・日	青	センター入試	1	2	3	生理(1)胃腸症状(1)感冒症状(1)
	1/28	土	青	専門職大学院入試 エバーグリーン募金イベント	0	0	0	
	1/29	日	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	2/4	土	青	専門職大学院入試	0	1	1	爪切り(1)
	2/7・10・ 11・13・ 14・15・ 18・19・ 21	月-日	青	一般入試	22	22	44	風邪(2)頭痛(3)腹痛(4)下痢(2)生理痛(1) 気分不快(8)嘔気・嘔吐(4)切創(1)外傷(6) 貧血様症状(4)その他(9)
	3/4	土	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	3/25	土	青	学位授与式	2	2	4	貧血様症状(1)頭痛(1)倦怠感(1)その他 (1)

9. 各種情報処理

①学生健康診断処理関係

月	処理内容	保健管理センター処理	事務システム室処理
4月	保健データ管理画面アップデート開始	4/1～通年	
	学生健康診断検尿データアップデート処理	4/6～8・11・13～15・18・19	
	学生健康診断データアップデート処理	4/12	4/12
	春プリントファイル更新処理		4/12・22
	学生健康診断有所見者リスト出力処理	4/13	
	健康診断証明書ファイル作成		4/22
	健康診断結果通知打出し処理	4/22	
6月	教学系システム実務担当者会	6/22	6/22
7月	春プリントファイル更新処理		7/28
11月	学生現在症呼出しリスト出力処理	11月初旬	
	教学系システム実務担当者会 (WEB版健康診断結果通知書の仕様確認)	11/8	11/8
12月	保健システムプログラム改修のテストリリース開始	12/2～3月	12/2～3月
3月	学生身分異動統計処理	3/21	
	学籍新年度処理 SAMSHOUDB 新年度学籍情報参照開始		3/24
	新年度離籍分離処理	3/25	
	メモデータ離籍分離処理	3/25	
	保留データ離籍分離処理	3/25	
	学生健康診断対象者名簿作成処理	3/25	
	障害のある学生の離籍分離処理	3/25	

②教職員健康診断処理関係

月	処理内容	保健管理センター処理	人事部処理
6月	人事部人事課より 教職員退職者、定期健康診断受診対象者リスト提供		6/3
	教職員健康診断Accessデータ作成処理	6/4	
	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	6月(各キャンパスごと)	
9月	人事部給与課より6月以降就任、退職者リスト提供		9/2
	教職員健康診断Accessデータ更新処理	9/2	
10月	教職員健康診断結果アップデート処理	10月中旬	
	人間ドック結果要Accessデータ作成処理、適宜更新	10月中旬～通年	
	私学共済提出用健康診断結果処理	10月中旬～通年	
11月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	11月(各キャンパスごと)	
1月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	1月(各キャンパスごと)	
2月	人事部人事課より雇入れ時健康診断対象者リスト提供		2月～通年
	雇入れ時健康診断Accessデータ処理	2月～通年	
3月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	3月(各キャンパスごと)	
	雇入れ時健康診断結果アップデート処理	3月～通年	